



令和 6年 10月 1日

鹿児島市長 下 鶴 隆 央 殿

福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号  
イオン九州株式会社  
代表取締役社長 中川 伊直 印



貴市と交わした地域貢献協定及び覚書に基づき、地域貢献活動の実績を下記のとおり、報告します。

記

協定項目	細目	具体的な取り組み内容・既に実施済みの取り組みなど	地域貢献活動の実施状況等（令和5年度）
1 本市まちづくりへの協力	(1) 本市が進める各種まちづくりの取り組みへの協力	①甲乙間の協議により、可能な限り、甲が進めるまちづくりへの協力を積極的に行う。 ②毎月11日を全店クリーンデーと定め、店舗周辺作業を実施する。 ③毎年10月を環境月間と定め、拡大クリーンデーとして公園等のパブリックスペースを清掃する。	①11/18（土）九州森の日植樹祭に参加し鹿児島県内で販売したレジ袋収益金を贈呈（かごしまみどりの基金へ） ②毎月11日をクリーンデーとし従業員で店舗周辺の清掃を継続実施。 ③9/30（日）木材産業協同組合主催の東開町清掃活動に参加
	(2) 地域における街並みづくりなど景観形成に関する協力	①地域との協議により可能な限り積極的に対応。 ②店舗外装にはナチュラルカラーを使用し、地域景観になじむ工夫を行う。また、敷地内及び建物に多くの緑を配置し、憩いの場となるよう工夫を行う。	店舗周りの樹木の剪定は毎月実施しており、景観維持に努めております。またクリーンデーに合わせて、雑草の引き抜きも従業員で行っております。
	(3) 市政情報等の提供への協力	①甲乙間の協議により、可能な限り、市政情報等の提供への協力を積極的に行う。	①市政情報の発信として各課主催のパネル展を実施、期日前投票会場としてもイオンホールを提供
2 地域との連携	(1) 町内会等が主催する祭りなどの各種活動への参加及び協力	以下の祭りへの協賛を行う。（予定） ①かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 ②照国神社 六月燈 ③東開町かごま真ん中祭	以下の祭りへの協賛 ①かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 ②照国神社 六月燈 ④桜島と芸術花火2023 ⑤かごしま春祭大ハンヤ 以下の総踊りへの参加 ①おはら祭り
	(2) 地域商店街が主催する各種イベント等への参加及び協力	以下の行事について協力をを行う。（予定） ①宇宿商店街納涼夏祭り ②東開町かごま真ん中祭	以下の祭りへの協賛 ①宇宿商店街納涼夏祭り ②おぎおんさあ ③谷山ふるさと祭り 以下の総踊りへの参加 ①谷山ふるさと祭り
	(3) 商工会議所または商工会等への加入	①鹿児島商工会議所及び谷山商工会への加入。 ②店舗内のテナント事業者に対し、可能な限り商工会への加入を促す。	①鹿児島商工会議所及びかごしま商工会加入済み ②店内一部店舗を除き谷山プレミアム商品券が利用可能となる、また販売会場としてイオンホールを提供
	(4) 市内及び県内商業者のテナント出店の促進	①可能な限り県内業者からの積極的な取引の拡大を図る。	①令和5年度現在県内企業25社県内の店舗への出店要請は実施しているが、実現が難しい

協定項目	細目	具体的な取り組み内容・既に実施済みの取り組みなど	地域貢献活動の実施状況等（令和5年度）
	(5) 地域福祉活動への参加及び協力	①地域各団体との協議により、可能な限り積極的に参加・協力する。 ②イオン社会福祉基金・イオン九州社会貢献基金（労使双方からの個人拠出金による基金）から福祉施設等への支援を実施。 ③「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施し、地域NPO団体へ物資を支援。	①毎月第2月曜日～第3日曜日までをフードドライブ（食品の寄附）の日とし、ご家庭で眠っているまだ食べられる食品をお持ちいただき福祉施設やこども食堂へ寄付（鹿児島店2023年度の実績は1289.1kg） ②ボランティア活動として『ほっぺ食堂（こども食堂）』へ赴きクリスマス会に参加しクリスマスプレゼントを渡す ③イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」として地域団体さまへお買い上げ金額の1%を活動資金として寄付（前年度の実績を翌年寄贈 19団体（2022年度分）へ¥800,400円寄贈）
地元製品の販売促進への協力	(1) 地産地消の取り組みへの協力	①九州内の全店で鹿児島産品を販売する「鹿児島フェア」を開催。 ②鹿児島産品の全国展開を行う。（イオンオリジナルブランド化の推進） ③鹿児島県商工会連合会主催による年3回のイベント実施（商店街フェア）	①九州内全店で鹿児島フェア「かごしまマルシェ」を3月と10月に実施。県民の日ではあきほなみを使用した弁当販売 ②フードアルチザンとして「安納芋」「桜島だいこん」を全国展開、トップパリュウとしては、お茶、うなぎ、うまみ和豚コース生姜焼き等販売、新商品として鹿児島県産赤鶏モモ肉唐揚げ発売 ③実施なし
	(2) 地元産品コーナーの設置など、地元産品の積極的なPR活動及び販売促進	①店舗内への地元農産物生産者コーナーの常設。	・食品売場での地元農産品コーナーの設置 銘店コーナーでの地元お土産の販売及び焼酎の販売
	(3) 地元産品の積極的な販売	①県内の生産者・市町村・JAとのタイアップによる催事の展開。 ②チラシ、テレビCMを活用し、地元産品をPR。 ③産直ギフトの育成。 ④農水畜産品全てにわたり、メーカーや産地とのタイアップによる積極的な販売の実施。	①JAとの取組で10月に「紅はるか」を使用したレストランメニューによる「野菜フェス」実施 ②鹿児島県内より出店者を募り肉月灯を実施、テレビCMやインスタ等で訴求実施。 ③地場商品のお歳暮・お中元配送無料キャンペーン実施
地域雇用の確保	(1) 地元からの優先的な雇用	①開店に先立ち近隣地域から500人のコミュニティ社員の採用を実施。 ※コミュニティ社員とは、パート社員のことです。 ②地元高校卒業者の全社採用を実施。 ※全社採用とは、九州管内を異動対象とする採用形態です。 ③中学・高校・大学からの職場体験受入れを積極的に実施。	②令和5年地元採用6名、城西高校（特別支援学級）1名採用 ③中学校・高校生・特別支援学校の職場体験要望対応 鹿児島大学水産学部へのインターンシップ受入れ
	(2) 正社員採用など安定雇用の促進	①コミュニティ社員が店長に昇格できる処遇制度の運用。 ②コミュニティ社員の保険加入の促進。 ③コミュニティ社員から正社員への登用制度の運用。	①③社内登用試験制度を利用し、時間給から日給月給社員へ昇格できる制度あり ②雇用保険は月間87時間以上勤務者全員加入。社会保険は希望加入。
	(3) 若者、障害者及び高齢者の積極的な雇用	①65才定年制度の運用。 ②障害者の雇用に努める。（法定雇用率の確保） ③公共施設との密な連携に努める。（ハローワーク等） ④ジョブ雇用支援制度、トライアル雇用の促進。	①65歳定年制の運用、70歳までの再雇用制度あり。パートタイマーは70歳定年。 ②障害者雇用率は4.43% 法定雇用率を上回る。 ③職場体験学習の実施 ④トライアル雇用は実施なし
	(4) 子育て世代の雇用や仕事と家庭を両立しやすい環境づくり	①次世代育成支援推進法に基づく対策の実施。（厚生労働省へ既に提出した「一般事業主行動計画」に沿った具体的な行動） 一例：コミュニティ社員も育児休業・育児勤務制度の対象とする） ②結婚・出産・育児支援の実施。（雇用形態の転換制度：選択肢複数） ③ショッピングセンター内への託児所の設置。 ④子育て中の女性を対象とした就職に関する出張相談窓口設置への協力	①育児勤務制度に沿って運用。現在育児勤務者4名在籍。（残業が発生しないよう管理） ②育児休暇者1名 ③託児所は現在なし ⑤鹿児島市イクボス推進同盟加盟団体に参加（イオン独自のイクボス検定あり）

協定項目	細目	具体的な取り組み内容・既の実施済みの取り組みなど	地域貢献活動の実施状況等（令和5年度）
防犯・防災対策	(1) 深夜営業時や閉店後の防犯及び青少年の非行防止対策	①保安担当専任者配備、巡回警備（元警察官採用） ②機械警備による警備の実施 ③委託業者保安員による巡回警備の実施 ④緊急車両駐車スペースの確保 ⑤防犯カメラ設置・稼働 ⑥警察官立寄り所設置	①契約社員で3名勤務（元警察官） ②閉店後の実施 ③委託保安員1名 ④⑤⑥は南警察署と連携で実施 ⑦20歳未満者 酒・たばこ販売防止教育訓練（年2回）の実施
	(2) 店舗及び店舗周辺において犯罪等が発生した際の被害者等の安全確保のための適切な対応	①鹿児島南警察署との連絡体制の確保。 ②契約警備会社と店舗と直結の非常ベル設備の稼働。	①南警察署との連携と友の会総会出席など、ご指導いただいております ②ALSOK総合警備保障との連携で通報されます
	(3) AED（自動体外式除細動器）の設置	①3台を設置予定。 ②従業員への使用訓練を実施予定。	①合計6台設置 ②令和5年12月1日実施済み
	(4) 災害等緊急時の物資や避難場所の提供	①鹿児島県と「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結。 ②鹿児島市と防災協定を締結 ③緊急避難場所としての駐車場の提供。 ④緊急避難用テント「バルーンシェルター」配備のための基礎設備を設置。 ⑤緊急災害用「防災・災害トイレ」を設置。	①②平成28年4月1日に締結 ③緊急時の駐車場の提供 ④現状ではバルーンのアンカーを外しており設置不可 ⑤緊急災害用「防災トイレ」10基設置可能
	(5) 災害等緊急時のボランティア活動への積極的な協力	①災害時現地対策本部との協議により積極的に協力体制をとる。	①災害時には避難所として物資の供給や要請を受けてのボランティア活動に参加します。
	(6) 消防啓発活動に対する事業所としての協力	①ショッピングセンター全体での消防訓練の実施。 ②衛星携帯電話の活用による通報体制の確保。	①令和5年5月27日、11月9日の年2回実施済み ②現状、Buddycomで対応
ユニバーサルデザインの導入	(1) 店舗や広告等へのユニバーサルデザインの導入	①入口サイン、駐車場サイン、入口音声案内、店内誘導サイン等へのユニバーサルデザイン導入 ②身障者専用駐車場にリモコン開閉の仕組みを装備 ③CAPD（持続携帯式腹膜透析）の配備 ④ユニバーサルデザイントイレの設置（サイン、音声、手摺り、オストメイト、男・女・みんなのトイレ） ⑤ユニバーサルデザイン仕様の自動販売機の設置 ⑥高さの異なるベンチを配置 ⑦フードコート内に車イス優先テーブルを設置等々を導入しています。鹿児島県下各障害者団体様のご意見をいただく会合を数回実施し、貴重なご意見・ご指導をいただき店内随所に反映しております。	①導入し、稼働中 ②現状、カード式で運用 ③導入なし ④導入し、稼働中 ⑤モール内、15台導入 ⑥導入済み ⑦導入し、稼働中
	(2) 地域商店街へのユニバーサルデザインの普及への協力	①地域商店街から見学等の申し出があれば積極的に協力。	ご希望があれば対応させていただきます（社会科見学時にユニバーサルデザインの説明も実施）

協定項目	細目	具体的な取り組み内容・既に実施済みの取り組みなど	地域貢献活動の実施状況等（令和5年度）
7 環境や省エネルギー対策の推進	(1) 簡易包装及びマイバッグ運動の実施	①マイバッグ・マイバスケット運動を実施。 （商品としても販売） ②買物袋持参運動を実施。 （レジ袋事辞退で2円引き） ③商品のバラ売りを実施。（ノー包装） ④簡易包装を実施。（中元・歳暮） ⑤衣料品のハンガー納品を実施。	①継続中 ②レジ袋有料化（収益金は寄付）、令和5年度下期よりプラスチック削減を目標として食品を除く部署は紙袋へ ③～⑤実施中
	(2) ごみ減量及びリサイクル推進に向けた積極的な取り組み	①敷地内にリサイクルステーションを設置し、古紙・アルミ缶・ペットボトル・牛乳パック・食品トレイの回収を行う。 ②店頭においても回収を実施。 ③従業員はリサイクル素材の制服を着用する。 ④消耗備品として文具用品のグリーン購入を実施。 ⑤古紙再利用のコピー紙を使用。	①②継続実施中 ④⑤一部継続中
	(3) 店舗周辺地域における清掃美化活動への積極的な取り組み	①毎月11日には全店クリーンデーとして店舗周辺の清掃作業を実施する。	①毎月11日実施中、参加人数も増加傾向（鹿児島店の直営従業員数 約400名）
	(4) 過剰な照明使用の削減や適切な空調温度の設定	①電力使用量昨年比10%削減への取り組み ②事務所照明一本ずつ消点灯スイッチ・消灯カードを設置 ③LED化の実施。	①②継続実施中 ③外灯をLED化実施済み
	(5) 省エネルギー・新エネルギー設備の導入	①ソーラーパネル設置による太陽光発電設備を設置。 ②氷蓄熱システム（CO <sub>2</sub> 発生の少ない夜間電力の利用）稼動。 ③鏡面タイプの反射管付蛍光灯の採用。 （通常の70%の消費電力） ④外部照明サインにLEDを採用。 ⑤エスカレーターの自動運転。	①～⑤継続実施中
	(6) 屋上緑化など地球温暖化防止への取り組み	①シラス素材ブロック舗装の採用（大気温度低減効果） ②再生プラスチック等素材の利用（ゴミ削減効果） ③店舗周辺への植樹（イオンふるさとの森づくり運動） ※開店時に20,000本を植樹 ④外壁面へのルーバー設置、バルコニー緑化（日射による熱負荷低減） ⑤照明のLEDへの変更 ⑤4階駐車場一部に屋上緑化を実施	①～⑤継続実施中
8 交通対策	(1) 来店者や歩行者への安全対策	①敷地内歩行者道の分離確保。 ②敷地内交通警備員の配置。	①～②継続実施中
	(2) 出店地周辺道路の渋滞緩和に対する対策	①県警との協議による安全・渋滞対策の実施。 ②JR駅、電停からショッピングセンター内への路線バスを運行。	①警察からのご指導で実施 ②継続実施中
	(3) 来店者及び従業員の公共交通機関の利用促進	①JR駅、電停からショッピングセンター内への路線バスを運行。	①継続実施中

協定項目	細目	具体的な取り組み内容・既の実施済みの取り組みなど	地域貢献活動の実施状況等（令和5年度）
9 店舗閉鎖時の適切な対応	(1) 早期の発表と新たに営業する後継店舗の確保	店舗閉鎖・核テナントの撤退は考えていない。記載の通り、地域貢献を果たしながら地域の皆様に末永く愛されるよう店舗運営に心がける。なお、万一閉鎖を余儀なくされた場合には、左欄の(1)～(4)の各項目について適切に処理するものとする。	左記の通り、実施しております
	(2) 従業員の新たな働き口の確保		
	(3) 建物の管理など閉鎖後の環境悪化の防止		
	(4) 閉鎖後の店舗の防犯及び安全対策		
10 その他（イオン全体での共通取り組み項目）	(1) イオン1%クラブ活動による地域貢献	①税引前利益の1%を会社として拠出し、地域貢献に役立てる。 活動例：チアーズクラブ支援、国内外災害支援、海外からの「小さな大使」事業、カンボジア・ネパール学校建設支援、地雷ゼロキャンペーン等々	左記の通り、実施しております
	(2) イオンチアーズクラブ活動の推進	①環境省提唱の「チアーズクラブ」をイオン独自クラブとして推進する。 ②次世代を担う子どもたちへの環境について学習する場を提供する。 ③従業員がサポーターとなって活動をバックアップする。	左記のとおり、実施しております ※「フードアルチザン」イオンが行っている日本のすぐれた食文化継承を担うことを目的とした活動＝鹿児島県は桜島大根と安納芋 今年度「桜島大根」の学習・収穫に鹿児島店のチアーズクラブが参加、【協力団体】グリーン鹿児島農業協同組合さま、JA鹿児島経済連さま、桜島大根農家さまなど
	(3) イオン社会福祉基金並びにイオン九州貢献基金による福祉活動及び地域貢献活動	①労使（個人・会社折半）拠出し、福祉基金では心身障害者の福祉の向上、社会活動参加促進を支援、貢献基金では地域・環境保全活動・社会福祉活動（各福祉施設に対するボランティア活動）支援。	ボランティア活動としてイオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」の登録団体さま「ほっぺ食堂（こども食堂）」12/17（日）のクリスマス会に参加し、17家族へ支援活動を実施
	(4) イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーンによる地域NPO団体への支援	①店毎に、NPOを登録し、 ②お客さまお買上のレシートを投函して頂き、 ③レシート金額の1%相当品を各NPOに寄贈支援するもの。	現状、18団体で登録で運営中 年1回店舗にて贈呈式を実施
	(5) ISO14001 全社取得	①環境マネジメントシステムを稼働中。	環境マネジメントシステムに沿って実施しております。年1回社内ISO内部監査を実施
	(6) イオンオリジナルブランド「トップバリュ共環宣言」「トップバリュグリーンアイ」の販売	①リサイクル資源を利用したエコロジー商品の販売。 ②安全・環境への配慮にこだわった商品の販売。	①衣料では、オーガニックコットン使用のインナー発売。鹿児島県産としては、オーガニック&フェアトレードレギュラーコーヒー販売
	(7) 各種募金活動の積極推進	①国内外で発生した自然災害被災者や環境保全活動などへの支援募金活動を店頭実施。	①24時間テレビ46寄附金贈呈（2023年6月21日～9月3日957,868円（鹿児島読売テレビ）） ②全国こども食堂募金（2022年12月3日～2023年1月9日） ③トルコ東南部地震緊急支援募金（2023年2月8日～2月26日） ④第2弾トルコ・シリア大地震緊急支援募金（2023年2月27日～3月12日）セーフウォーターキャンペーン・首里城支援募金など
(8) 各種募金活動の積極推進	①鹿児島とイオン㈱で包括提携協定を結び、電子マネー『屋久島WAON』を発行し、屋久島WAONをご利用された売上金の一部が、屋久島の自然保護に活用される。	①屋久島WAONのご利用金額の0.1%を屋久島環境財団に寄付（令和5年7/14）248万7529円	